

1 本年度の重点目標

【重点】

①学力の向上 ②豊かな心と規律ある態度 ③体力の向上 健康教育の推進

【教育活動の基盤】

①連携・協働

[ひらかれた教育活動、特別支援教育の充実・連携 小中連携教育の推進、家庭との協働、地域との連携]

②安全・安心

[居場所のある学年・学級経営 施設設備の安全確保、清掃指導の徹底、掲示教育、学校緑化の充実
安全・防災教育の充実 危機管理体制の整備]

2 本年度の重点的な取り組み

- ・全教職員の創意を活かし、組織的に魅力ある教育活動を展開する。
- ・教育活動をひらき、保護者との協働、地域との連携を図る。

3 自己評価結果

達成状況 A:達成している B:概ね達成
C:やや達成不十分 D:達成できていない

評価領域	No.	評価項目(重点目標)	自己評価		学校関係者評価委員から
			達成状況	説明・改善の方策	評価(文章表記)
経営方針・組織・教職員	1	○子どもを知り、よさを引き出す教育活動(児童が学校に楽しく通える。)共学・共遊	A	児童の人間関係が円滑になるように指導助言を継続してきた。どの子ども居場所が確保できるよう組織的に対応してきた。児童及び保護者への調査で「学校が楽しい」が、いずれも92%を超えている。	・アンケートや研修等を通して児童理解に努め、組織的な教育活層を進めている様子が見えてくる。
	2	○子どもとともに活動する教師(清掃、遊び)共働	A	清掃指導や時刻を守るなど、職員が率先垂範を意識し行動している。スマイリータイムなど児童とともに行動することを心がけることができた。	
	3	○効率的な校務運営で教職員の健康推進 効率的効果的な会議、研修の推進	A	会議資料の事前配布及び内容の事前精査により会議時間の短縮を図った。電子媒体の共有化を進めた。→校務の効率化を図ることができ、職員の超過勤務時間の縮減につながった。	
	4	○組織的な教育活動 学年組織・教科等部会組織を活かす	B	学年組織での教育活動を展開しやすくし、教育効果を高める工夫をした。必要に応じて部会を開催し、教育活動の修正を図った。	
	5	○『見通し・見届けの教育実践』先を見通した計画、目標の明確化 活動の見届け、評価	B	教育計画の実施状況を定期的に確認し、計画の見直し・変更をして充実を図った。 ・教職員アンケート2回、保護者アンケート1回の実施 ・学期毎に定着度確認テストを実施 ・児童生活アンケート年2回実施	

評価領域	No.	評価項目(重点目標)	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			達成状況	説明・改善の方策	
【重点】① 自ら学ぶ子 学力の向上	6	○日々の授業の充実 ねらいを明確にした授業 言語力の育成(まとめを自分の言葉で)	B	保護者アンケート「学校(教員)は、わかりやすい授業に努めている。」では、96.3%が肯定評価であった。教員は、ねらいを明確にした授業を実践するよう意識するようになっている。言語力の育成については、学校全体で研修課題として取り組んでいる。徐々に成果が表れつつある。引き続き、授業改善を進めたい。	・学校が楽しく、勉強が好きであれば学力は向上するはずである。課題である学力向上のため、基礎基本の部分の定着と底上げを図る手立てを工夫していただきたい。また、児童に対する評価軸を増やし自己肯定感を高め、自信を持ち学校生活を送れるように支援していただきたい。
	7	○基礎基本の確実な定着 国語定着度確認(90点以上の児童の割合) 算数定着度確認(90点以上の児童の割合) 1年:80% 2年:70% 3年:60% 4~6年:50%	B	毎学期定着度確認を行った。 ・2学期末の定着度確認 90%以上の正答率の児童の割合 国語:66.0%(61.4%) 算数:66.0%(54.5%) 更に定着度を高める工夫をしていきたい。	
	8	○学習意欲の向上 個に応じた指導・支援の充実 ○○チャレンジの充実	B	・児童が、「勉強がよく分かる」と回答した割合:93.0% ・保護者調査「分かりやすい授業」の項目で肯定評価:96.3% ・児童アンケート「勉強がすき」 1年:98%,2年:92%,3年:94% 4年:97%,5年:82%,6年:95% 意欲向上を図り主体的に学べるように教育活動の改善を図りたい。	
【重点】② 仲よくする子 豊かな心と 規律ある態度	9	○人権意識の高揚を図り、いじめ・不登校の解消 丁寧な言葉遣い・温かい言葉かけ	B	毎月あいさつ運動を実施した。 言葉遣いや思いやり等について全校で指導している。継続して指導していく。 児童をよく観察し、人間関係の調整に努めている。	・声を出して元気よく挨拶できる子が増えてきた。地域連携が役立っている。 ・家庭との連携を深め、丁寧な言葉遣いの指導を進めていただきたい。
	10	○自他を尊重する温かい心の育成 道徳授業の充実・全校公開 本とのふれあい	B	道徳研修を実施し、授業に活かした。 授業公開を12月に実施した。 (保護者に参観を呼びかけた。) 本の読み聞かせ、お話会等、本に親しむ活動を展開した。 (ボランティアや図書館の協力)	
	11	○規範意識と順法精神の育成 授業規律、基本的生活習慣の確立 まじめな生活態度の確立	A	授業規律の確認に努めた。 (特に授業のはじめと終わりの礼) 学校の決まりの確認と守ろうとする態度の育成を図った。 →名札5日間忘れなかった児童 87% 全校で意識的に取り組めた。	
【重点】③ たくましい子 体力の向上 健康教育の 推進	12	○体力の向上 運動量を確保した体育授業の展開 行間運動の充実、外遊びの奨励 体力向上奨励種目への取り組み・検証	B	体育授業での運動量確保に努めた。業間には、持久走、ボールゲーム、縄跳びなどに取り組んだ。走を中心とした運動会を行い、体力向上をめざした。御狩場マラソンや外遊びなど児童が進んで運動に取り組むように、運動しやすい環境づくりをしている。(走るコースやドッチボールコートなど) 本校児童の体力は、県平均を上回っているが、運動の生活化を進める必要がある。	・今話題となっている運動会での組み体操については、事故や怪我のないように進めていただきたい。 ・食育授業など計画的に良くされている。
	13	○健康教育の推進 食育の推進 虫歯予防の推進	A	・食育授業を全学年で実施した。 ・お茶を淹れて飲む体験を実施した。 ・虫歯予防:全校で指導 給食後の歯磨きの徹底を図った。 むし歯治療率は91.9%で向上した。	

評価領域	No.	評価項目(重点目標)	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			達成状況	説明・改善の方策	
【基盤】① 連携・協働	14	○ひらかれた教育活動 学校応援団 小中連携、幼保との連携	A	学校応援団の支援で充実した教育活動が展開できた。 小中連携の充実を図った。(あいさつ運動、学習規律等の統一)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の意義をしっかりと培い、学力のレベルにあわせて家庭学習を習慣化させていただきたい。 ・保護者会の参加率向上のための工夫をお願いしたい。
	15	○家庭との協働 学習習慣の確立 忘れ物をなくす (名札着用100%) 保護者の参加機会の拡充	B	「家庭学習の手引き」を改訂し全児童に配布 30分以上の家庭での学習ができていた児童83%(昨年度79%) 保護者会平均参加率62.5%(昨年度66%) 名札5日間忘れなかった児童の割合 87%(再掲) 運動会で親子競技を実施、練習も計画し保護者の参加機会を増やした。引き続き、家庭との連携を深めていきたい。	
	16	○地域との連携	A	算数スキルの時間や読書タイム、家庭科・生活科等の授業等で多くのボランティアの方に協力をいただいた。自治会や民生委員の方々が登下校の見守りをしてくださっている。学校だよりを地域の皆さんに回覧させていただいている。	
【基盤】②安全・安心	17	○施設設備の安全確保(安全点検)	A	日常の安全点検の実施、危険箇所への速やかな対応に努めた。 転落防止対策を講じた(追加分)。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内がとても整理されている。(教室・ロッカー・靴箱・掲示)さらに、児童活動として継続していただきたい。 ・「みかりばサバイバル」等、PTA・おやじの会で企画運営されていることは素晴らしい。充実継続していただきたい。
	18	○清掃指導の徹底	B	用具の整備に努め、全職員で指導にあたった。概ね良好な環境が保てた。	
	19	○安全・防災教育の充実(危険予測能力) 「自分のいのちは自分で守る」の徹底	B	交通安全教室や避難訓練などを行い、自分の命は自分で守れるように指導している。 みかりばサバイバル(学校に泊まろう)等のPTA行事の連携を図り充実させた。 総合学習に防災学習を位置づけ取り組んだ。	
	20	○危機管理体制の整備 地震発生時の対応、不審者への対応等、危機管理体制の見直しと充実 緊急メールの態勢整備	A	一斉下校がいつでも速やかにできる体制を整えた。 緊急時の職員の対応を確認し危機管理意識を高めた。引き続き充実を図る。 緊急メールの登録率を98%超に増やすことができた。	